リサーチクエスチョンの提示

|  |
| --- |
| 前時まで、グループで関連する情報を集め、分析し、「研究テーマ」を決定してきた。さらに冬休みの宿題として、その研究テーマが抱える課題解決のための無数の問いの中から「リサーチクエスチョン」を設定し、根拠に基づいた「仮説」を立ててきた。本時は、これまでの作業を他の人たちに発表しよう。発表を通して、自分たちの研究したい内容を整理できるとともに、他者の客観的な意見から自分たちの考え方で足りない点を指摘されたり、新しい観点からの考え方に気付かされたりするだろう。 |

■リサーチクエスチョンの提示

１グループの持ち時間は４分とする。２分で発表を行い、残りの２分で他の人たちから意見（ツッコミ）をもらう。（時間は目安、教室ごとに適宜設定する。）

前回のプリントにも記載した通り、リサーチクエスチョンと仮説を決める作業は、今後の課題研究の柱となるものである。時間をかけて検討し、今後およそ１年間を通して実証していくにふさわしいリサーチクエスチョンを設定する必要がある。

今回の発表は、今までの作業に対して様々な意見をもらうことが目的である。次回からは引き続きリサーチクエスチョンの検討を重ねていき、２月４日のポスターセッションにおいて、最終的なリサーチクエスチョンを発表することになる。

■発表のポイント

発表内容は、研究テーマやリサーチクエスチョン、仮説を中心としたものとし、必要に応じてこれまでの作業で行ったことやわかったことを織り交ぜること。重要なのは、自分たちが研究したいと思っていることを、他の人たちにわかりやすく、根拠をもって伝えることである。

|  |
| --- |
| ▶研究テーマ・設定した研究テーマとその概要・研究テーマの背景となる情報▶リサーチクエスチョン・研究テーマが抱える課題・５Ｗ１Ｈをぶつけてわかったこと・先行研究を調べてわかったこと・設定した「リサーチクエスチョン」とその概要▶仮説・仮説（リサーチクエスチョンに対する答えの見通し）・その根拠 |

■意見（ツッコミ）のポイント

発表の聞き手は、その発表に対して意見（ツッコミ）をする。ツッコミは、①研究をしていくうえで不足していると思う点、説明を聞いてよくわからない点、根拠として不十分な点など、発表者の研究に対して「こうするともっとよくなるよ」という視点や、②優れた発想や着眼点、社会での有益性、将来の有望性など「この点がすばらしい」という視点を持って行うことが望ましい。つまりツッコミとは、発表者の研究に役立つ意見を伝えるために、あえて批判的に物事をとらえることが重要となる。

|  |
| --- |
| ※５Ｗ１Ｈ「いつ（When）、どこで（Where）、だれが（Who）、なにを（What）、なぜ（Why）、どのように（How）」を意識する。※リサーチクエスチョンを設定するうえでの注意事項を意識する。①すぐに答えが出てしまわないか？→考えてすぐわかることは研究の必要がない②現状を調べるだけで終わらないか？→資料や先行研究でわかることは研究の必要がない③用いる理論を理解しているか？→高度で専門的な知識が必要であり高校生では解決できない④見通しが立ち，実行可能か？→規模が大きすぎて１年間では解決できない⑤研究をするうえで必要なものは準備可能か？→機材や免許が確保できない場合は研究できない※言葉の定義や理論の根拠があいまいでないかチェックする。 |

■発表後の振り返り

発表後、他の人たちからの意見（ツッコミ）を参考に、自分たちの研究について見返してみよう。リサーチクエスチョンやその仮説について検証が不十分であったり、そもそも研究するのに適していなかったりすれば、修正や変更が必要になる。場合によっては、研究テーマ自体を見返す必要もあるだろう。早いうちに発表後の振り返りを行おう。

|  |
| --- |
| 発表後の振り返り |

■今後の予定（１学年次）

|  |  |
| --- | --- |
| ■月■日（■）、■日（■） | リサーチクエスチョンの深化、ポスター作成 |
| ■月■日（■） | ポスター提出 |
| ■月■日（■） | ポスターセッション（発表） |